

PHARMACY DIGEST

12・1

2020 December &
2021 January

【巻頭インタビュー】…… 2 P

* 数値化で薬剤師の副作用対策を見える化 薬薬連携で介入を点から線へとつなぐ 外来化学療法における質向上の取り組み

岐阜大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長 鈴木昭夫
同院薬剤部 主任/外来化学療法室 責任者 藤井宏典

【薬薬連携～薬剤師が変わると病院が変わる～⑩】…… 6 P

* 薬薬連携は地域包括ケア実現の必要条件

ファルメディコ株式会社/医療法人嘉健会 思温病院 理事長 狭間研至
熊本大学薬学部・熊本大学大学院薬学教育部 臨床教授

【To Best Pharmacy～愛されるかかりつけ薬局を目指して～】…… 7 P

* 有限会社カゾメディカル (東京都板橋区)



バックナンバーはこちら



File. 84

有限会社カゾメディカル

(本社：東京都板橋区)

**“健康維持の情報発信源” 目指し 取り組みを展開
きめ細かな対応で島しょ部の患者もフォロー**

地域から信頼されるかかりつけ薬局を目指し、創業以来、地域医療に積極的に取り組んできた有限会社カゾメディカル。都内のほか島しょ部にも店舗展開するなど、地元に着着した薬局として住民から親しまれている。同社経営統括部部長の丹治憲智氏にお話を伺った。



▲経営統括部部長 丹治憲智氏

——はじめに、貴社の概要をご紹介ください。

当社は、地域の人々に信頼されるかかりつけ薬局になるとともに、健康維持の情報発信源となることを目指して、1992年に創業しました。「人生の全てを健康で過ごす」という幸せを実現すべく、皆さまの健康維持に尽くし、誠心誠意お役に立ちたいと願っています。薬局は都内の大田区、練馬区をはじめ、伊豆大島にも店舗を構えています。

——その伊豆大島で開局されているのが、大島元町薬局ですね。

人口8,000人ほどの伊豆大島に唯一の薬局として、大島元町地区に1998年に開局しました。内科、整形外科、産婦人科、耳鼻科、眼科、心療内科、皮膚科、脳外科など、多様な診療科の処方箋を受け付けており、毎日200人ほどが来局されます。患者さまが不安に感じたり、心配することが極力ないよう、スタッフ全員がきめ細やかなコミュニケーションをとることを心掛けています。地元スーパーなどで患者さまにお会いすることもあり、その際は気軽な世間話とともに、ご要望に応じて食生活や運動の相談に応えたりもします。

また、地元中学校からの3日間の「職場体験学習」を

受け入れ、薬局薬剤師の仕事について知ってもらう機会を設けるなど、地元に着着した薬局として親しまれています。

——今年の9月にも、新たな店舗を開局されたといいました。

うめの木薬局です。大田区においては当社の既存薬局がこれまで患者さま対応をしておりましたが、より多くの患者さまのご対応をすべく、同じく大田区の鶴の木地区にオープンしました。うめの木薬局では、服薬期間中のフォローアップやオンライン服薬指導に応えるため、アプリ等を導入し、患者さまとより積極的にきめ細かなコミュニケーションをとることを目指しています。

——今後の抱負をお聞かせください。

当社では毎年、暑気払いや忘年会を開催して社員を慰労するとともに、社員同士の交流を深めてきました。今般このコロナ禍の中、これまでのような運営や、従来の患者さま対応を同様におこなうことが難しくなりましたが、社員一同がこれからも日々工夫を重ね、患者さまの健康増進によりよく貢献できるよう努めてまいります。



▲▶大島元町薬局からは、夕日や富士山などの美しい風景も眺望できる。

▶伊豆大島の地域医療を支えている大島元町薬局。



▲今年開局したうめの木薬局は、小笠原など島しょ部の処方箋に一元対応している。

基本 DATA

本社所在地：東京都板橋区大山東町45-5 / 創業：1992年 / 店舗数：5
店舗 / 従業員数：33名(内、薬剤師21名) / URL = <https://kazuo.co.jp/>